

環境会計

当社では、効率的な環境保全活動の実施と、取り組み状況の透明性を高めることを目的として、「環境会計」を実施しています。

当社は地球温暖化対策をはじめとする環境問題に継続的に取り組んでいます。2013年度は排熱回収設備や省エネルギー機器などの地球環境保全に向けて528百万円の投資を行い、環境投資の総額は798百万円となりました。今後も環境保全活動を着実に進めていきます。

物量に関する環境保全効果については「環境保全」、「ダイセルグループのレスポンシブル・ケア活動の目標と活動結果」（「ダイセルグループCSR報告書2014詳細報告」）（<http://www.daicel.com/csr/library.html>）、ならびに「環境保全」（「ダイセルグループCSR報告書2014」32～33ページ）に記載しました。

また、当社は環境問題への取り組みが求められる中、アスベスト対策、ならびにPCB対策にかかわる環境債務を把握し、計画的に処分を進めていきます。

集計期間：2013年4月～2014年3月

集計方法：環境省発行の「環境会計ガイドライン2005年版」、日本化学工業協会発行の「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準拠して算出。

投資額：2013年度の環境保全に関する設備の投資実績。

費用額：環境保全に関する設備の減価償却費・設備維持管理費・人件費などの実績値。

環境保全対策に伴う経済効果：実質的効果のみとし、リスク回避効果やみなし効果は含まない。経済効果のエネルギー費用の削減効果については、実施した省エネルギー対策の12カ月間にわたるエネルギー費用の削減効果を計上した。

→ 環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)
生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト（事業エリア内コスト）		776	4,306
内訳	公害防止コスト	228	2,164
	地球環境保全コスト	528	755
	資源循環コスト	20	1,387
生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト（上・下流コスト）	容器包装リサイクル負担、グリーン購入	10	102
管理活動における環境保全コスト（管理活動コスト）	環境管理人件費、環境マネジメントシステム運用・維持経費、環境教育費用、環境負荷対策費用	0	551
研究開発活動における環境保全コスト（研究開発コスト）	製品・製造工程環境負荷低減テーマでの研究開発	12	128
社会活動における環境保全コスト（社会活動コスト）	緑化・美化などの環境改善活動、地域行事参加、会費	0	31
環境損傷に対するコスト（環境損傷コスト）	自然修復費用、環境保全に関わる損害賠償費用等、自然損傷に対応する引当金繰入および保険料	0	3
合計		798	5,121

項目	金額 (百万円)	環境比率 (%)
当該期間の設備投資額	11,560	6.9
当該期間の研究開発費	8,503	1.5

→ 環境保全対策に伴う経済効果 — 実質的効果 —

項目	金額 (百万円)
省エネルギーによる費用削減	1,096
省資源による費用削減	386
再資源化により得られた収益	307
廃棄物処理費用削減	15
合計	1,804